



下津井中学校
二次元コード

はばたき

校訓 自主・勤労・責任

倉敷市立下津井中学校
学校だより
令和5年3月17日
NO.28

倉敷市立下津井中学校 第76回卒業証書授与式

3月13日に、3年ぶりに卒業生、在校生、そして保護者が一堂に会して卒業証書授与式が行われました。全校生徒で卒業生を見送った中学校は、倉敷市内ではほとんどありません。小さな中学校のメリットです。

式が始まる前の、担任の友田先生が思いを込めて作ったスライドがとても印象的でした。マスクを外した顔を見る機会がほとんどなかった卒業生の笑顔が素晴らしかった。1年生の時の素顔は正直誰だかわからない顔もありましたけど。

校長の最大の仕事は、卒業証書を手渡すことです。一人ずつ校長から手渡すときに、笑顔がこぼれ、「ありがとうございました」と囁いてくれて、とても幸せな時間でした。しかし、左の内ポケットに入れた式辞の原稿が、その余韻を与えてはくれません。式辞の“めあて”は「噛まずに読み切る。」でした。何度も読み直し、噛みそうなポイントは、他の言葉に置き換え、状況によってはアドリブ（WBCの日本チームの活躍など）も想定しながら、完璧な準備していました。…で、結果は3回ほど噛んだと思います。噛んだ瞬間にアドリブの余裕もなくなりました。来年はパーフェクトを目指します。

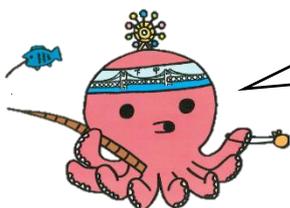
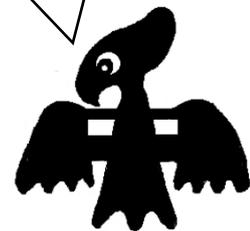
後半は、在校代表の西田さんの送辞、卒業生代表の松下さんの答辞が素晴らしかったですね。心込めて伝える姿は心にしみました。

そして、今年度、最初で最後の全員そろっての校歌斉唱、あらためて下津井中にふさわしい詞だなあと思いながら歌いました。

3年生諸君、本当に卒業おめでとう。もう、この「はばたき」は渡せないけど。



はばたけよお！



おめでとぉ！

